

浜松市総合計画

# 基本計画

浜松市未来ビジョン  
第1次推進プラン



## 目次

---

<b>1 未来ビジョン（基本構想）を受けて</b> .....	59
<b>2 都市経営の考え方</b> .....	61
1 市民協働で高める地域力 .....	63
2 未来まで続く持続可能なまち .....	63
3 未知の感動を生み出す創造都市 .....	64
4 想定外にも対応できる自立・自律したまち .....	64
5 世界とツナグ・地域とツナグ .....	65
<b>3 まちづくりの基本的な考え方</b> .....	67
コンパクトでメリハリの効いたまちづくり .....	68
<b>4 分野別計画</b> .....	71
分野別計画の構成 .....	72
1 産業経済 .....	73
2 子育て・教育 .....	79
3 安全・安心・快適 .....	85
4 環境・エネルギー .....	93
5 健康・福祉 .....	97
6 文化・生涯学習 .....	103
7 地方自治・都市経営 .....	107
◆ 政策体系 .....	113

基本計画



未来ビジョン  
(基本構想)  
を受けて

# 未来ビジョン（基本構想） を受けて

人口減少・超高齢社会など、未知の環境に立ち向かうため、新たな手法として、バックカスティング<sup>※1</sup>方式を取り入れました。

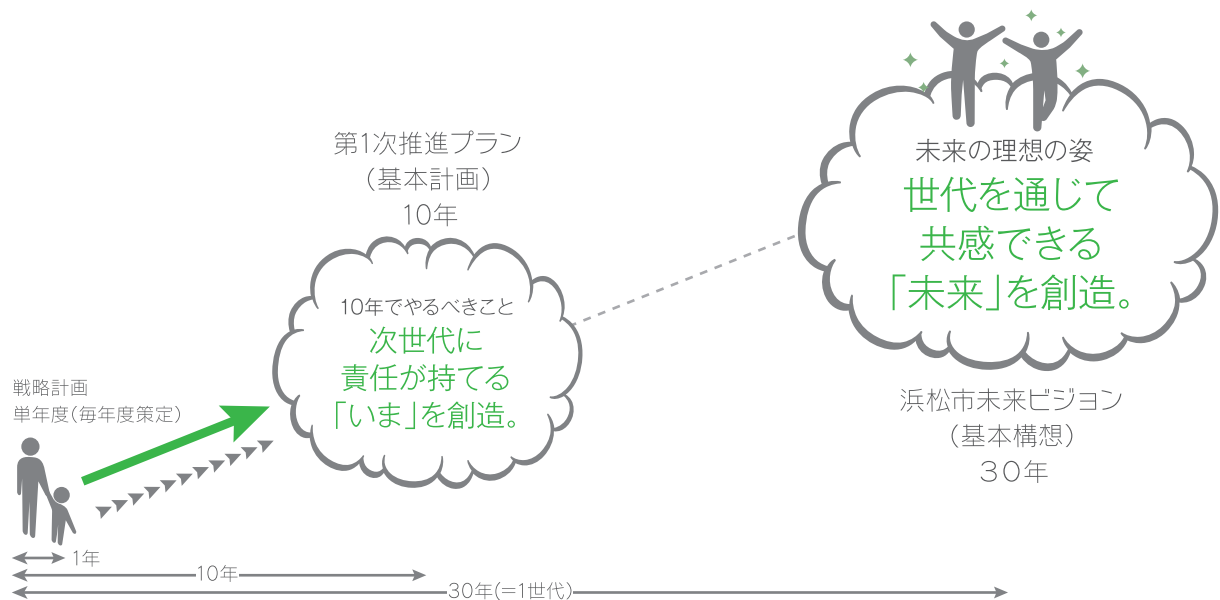
未来ビジョンでは、世代を通じて共感できる「未来」を創造するために、1世代（=30年）先を未来の理想の姿として、「都市の将来像」と「1ダースの未来<sup>※2</sup>」を定めました。

第1次推進プラン（基本計画）では、未来ビジョンの実現に向けて、長期的な展望に立ち、「今、行政は何を行う

べきか」「今、市民にできることは何か」を考え、次世代に責任が持てる「いま」を創造し、平成27年度から平成36年度までの10年間の総合的な政策を定めています。

また、第1次推進プランに掲げた10年後の姿を達成するため、事業実施の核となる戦略計画を毎年度作成し、計画的な進捗管理を進めます。

将来にわたって、市民が幸せに暮らし、豊かさを実感できるように、新たな挑戦をスタートさせます。



※1 バックカスティング：目標となる将来の理想の姿を想定し、その姿から現在を振り返り、今すべきことを定める考え方。

※2 1ダースの未来：浜松市未来ビジョンにおいて、産業・文化、子育て・教育など12の項目について、希望に満ちた未来に向け、浜松の理想の姿を描いたもの。

基本計画



# 都市経営の考え方

# 都市経営の考え方

市域を見渡せば、海、川、湖、山などの豊かな自然環境に恵まれ、沿岸部や都市部、中山間地域の多様性を有する「国土縮図型」の政令指定都市を実感することができます。地域の多様性は、本市の強みとして、特色のある産業や伝統文化などをはぐくんできました。

一方、広大な市域の中には、政令指定都市で最も長い道路延長や多くの公共施設が存在します。これらの維持更新のためには莫大な費用を必要とするな

ど、新たな課題も抱えています。

地域の持続的な発展のためには、行政資源や地域資源を効果的に組み合わせ、これらの課題の機先を制し、課題解決の先進都市を目指した都市経営が求められます。

このため、都市の将来像の実現に向け、すべての政策・事業を進める上での重要な考え方として、次の5項目を位置付けます。

## 1 市民協働で高める地域力

すべての市民が住み慣れた地域で充実した生活を続けるためには、行政だけでなく、市民、市民活動団体、企業などがまちづくりの主役として、各自の役割を果たすとともに、それぞれの主体が協働により、お互いを補い、支え合い、相乗効果を生み出していくことが不可欠です。このため、行政情報の積極的な提供を

行うとともに、情報の共有などによる各主体との協力・連携体制を築くことで互いの信頼関係を強化します。最終的には、行政が持つ権限や意思決定などの役割分担も視野に入れ、市民などが主体となって地域の課題を解決する地域力を高めていきます。

## 2 未来まで続く持続可能なまち

ヒト・モノ・カネ（地域経済）の最適な循環が持続可能な発展につながります。ヒトの循環では、子どもや子育て世代への支援、ワーク・ライフ・バランス<sup>\*1</sup>の推進、都市の魅力創出などにより、出生率の増加、年少・生産年齢人口の拡大を目指し、人口構成の最適化を図ります。モノの循環では、ごみの分別や廃電子機器からのレアメタル<sup>\*2</sup>の回収など、3R（リデュース・リユース・リサイクル）<sup>\*3</sup>の取り組みを、生活面、産業面などあらゆる分野で進めます。また、市民生活や産業活動を支えるエネルギーを持続的・安定的に確保するため、恵まれた自然環境を活かした再生可能エネルギーの利

用を推進します。

カネ（地域経済）の循環では、既存産業の高度化や経営革新、新産業の創出、ベンチャー企業の創業などの支援による雇用創出を推進します。また、新たなビジネスチャンスの獲得を目指した企業への海外展開支援などを進め、地域経済が潤う仕組みを構築します。

さらに、地域の課題を解決するため、コミュニティビジネス<sup>\*4</sup>などを、NPO<sup>\*5</sup>をはじめとした市民活動団体などが営む環境を整えます。

最適な循環を生み出すことで未来まで続く、持続可能なまちづくりを進めます。

\*1 ワーク・ライフ・バランス：一人ひとりがそれぞれの希望に応じて、仕事とそれ以外のこと（家庭や地域活動など）のどちらも大切にできるライフスタイルで、両方にやりがいや充実感を感じられる状態のこと。

\*2 レアメタル：産出量が少ない稀少金属のこと。

\*3 3R（リデュース・リユース・リサイクル）：発生抑制（リデュース：Reduce）、再使用（リユース：Reuse）、再資源化（リサイクル：Recycle）という循環型社会形成のための3つの言葉を英単語にし、その頭文字のRをとったものをいい、「スリーアール」と読む。

\*4 コミュニティビジネス：地域の住民を中心とした組織などが生活者の需要に対して、展開する事業で社会奉仕的な要素を持つ。

\*5 NPO：Non-Profit Organization（非営利組織）。市民が主体的に社会活動に取り組む非営利の民間組織。

### 3 未知の感動を生み出す創造都市

何事にも積極果敢な進取の気風である「やらまいか精神」<sup>※6</sup>、異なる文化を受け入れる寛容な市民性が、多様性に富んだ人財をはぐくみ、世界的な「ものづくり」のまちとして、発展を遂げてきました。本市の強みである「寛容性」や「ものづくり」の伝統を未来に引き継ぎ、市民や企業の創造的な活動により、産業の創

出、地域の教育や福祉への貢献など、すべての分野で新たな価値が次々に生まれるまちづくりを進めます。

すべての市民が互いに創造性を刺激し合い、常に新しい取り組みにチャレンジすることで、未知の感動を生みだし、創造都市<sup>※7</sup>・浜松の実現を目指します。

### 4 想定外にも対応できる自立・自律したまち

地震・津波の災害、感染症のまん延など、有事に対する備えを怠らないことで、想定外にも対応することができます。環境変化にしなやかに対応する、打たれ強い都市を目指し、安全・安心を実感できるまちづくりに取り組みます。また、選択と集中による経営資源の有効活用など、自らを律する「自律」により、不断の行財政改革に取り組み、都市経営

の基盤を強化することで、いかなる環境変化にも対応して、市民サービスの質と量を確保します。

さらに、道州制の導入をはじめ、地方の姿が大きく変わろうとしている中、地方自治のあるべき姿に向けて、自立した基礎自治体である“特別自治市<sup>※8</sup>”の実現を目指します。

※6 やらまいか精神：遠州（浜松）地方の方言で「やってみよう」「やろうじゃないか」の意味を持ち、何事にも前向きに取り組む気性を表す。

※7 創造都市：地域固有の文化や資源を活かした創造的な活動が活発に行われ、その活動が新しい価値や文化、産業の創出につながり、市民の暮らしの質や豊かさを高めていく都市。

※8 特別自治市：都道府県から完全に独立し、地方の行政サービスや税金を市に集約することで、地域のことを自ら決められるようになる、新たな大都市制度のこと。



## 5 世界とツナグ・地域とツナグ

情報通信技術、交通機関の発達により、ヒト・モノ・カネ・情報の急速なポータレス化<sup>※9</sup>が進展しています。世界の都市との連携を強化し、本市の特徴や強みを活かした国際戦略を進めることで「Hamamatsu」の都市ブランドを高め、企業の海外展開、海外からの企業誘致、文化・芸術・産業などの融合による創造都市の実現などにより、世界の活力を地域に取り込みます。

国内では、政令指定都市や三遠南信地域内の各自治体との連携を強化し、防災、観光、産業などの広域的な課題に対応します。また、市内では、都市部と中山間地域との交流を促進して、地域内の活性化を図ります。

世界・地域をツナグことで、本市の強みである自然や産業、文化などの多様性を活かした取り組みを進めて、未来への架け橋を築きます。

---

※9 ポータレス化：国籍や国境などが意味をなさないほど、国際的に広がっていること。



基本計画



# まちづくりの 基本的な考え方

## コンパクトで メリハリの効いたまちづくり

市民が居住するエリアを、公共交通の結節点や道路・鉄道の沿線に集約します。これらの居住エリアは、農業や工業などの産業を振興するエリアと、自然環境を保全するエリアとを明確に区分し、市域全体にわたり、人口密度にメリハリをつけた拠点ネットワーク型都市構造を目指します。

人口密度を高めることにより、店舗や病院などの民間活力を誘発し、便利で快適なまちへと移り変わる好循環を生み出します。また、道路や上下水道な

どの公共インフラについても見直しを進め、人口規模に応じた最適化を図ります。

また、中山間地域においては、田舎暮らしを促進するとともに、交通ネットワークの強化によって都市部との交流を促します。

『コンパクトでメリハリの効いたまちづくり』を基本的な考え方として、持続可能な最適化されたまちを市民とともに目指します。

**「まち」を4つ（①都心部／②市街地／③郊外地／④中山間地域）に区分し、それぞれの「まち」に応じた将来の理想の姿（基本的な考え方）を示します。**

- 都心
- 生活拠点など
- 居住エリア
- 工場用地など
- ⊙ 公共交通などのネットワーク
- ▬▶ 集約イメージ

※市街地=都市的な土地利用が図られるところ

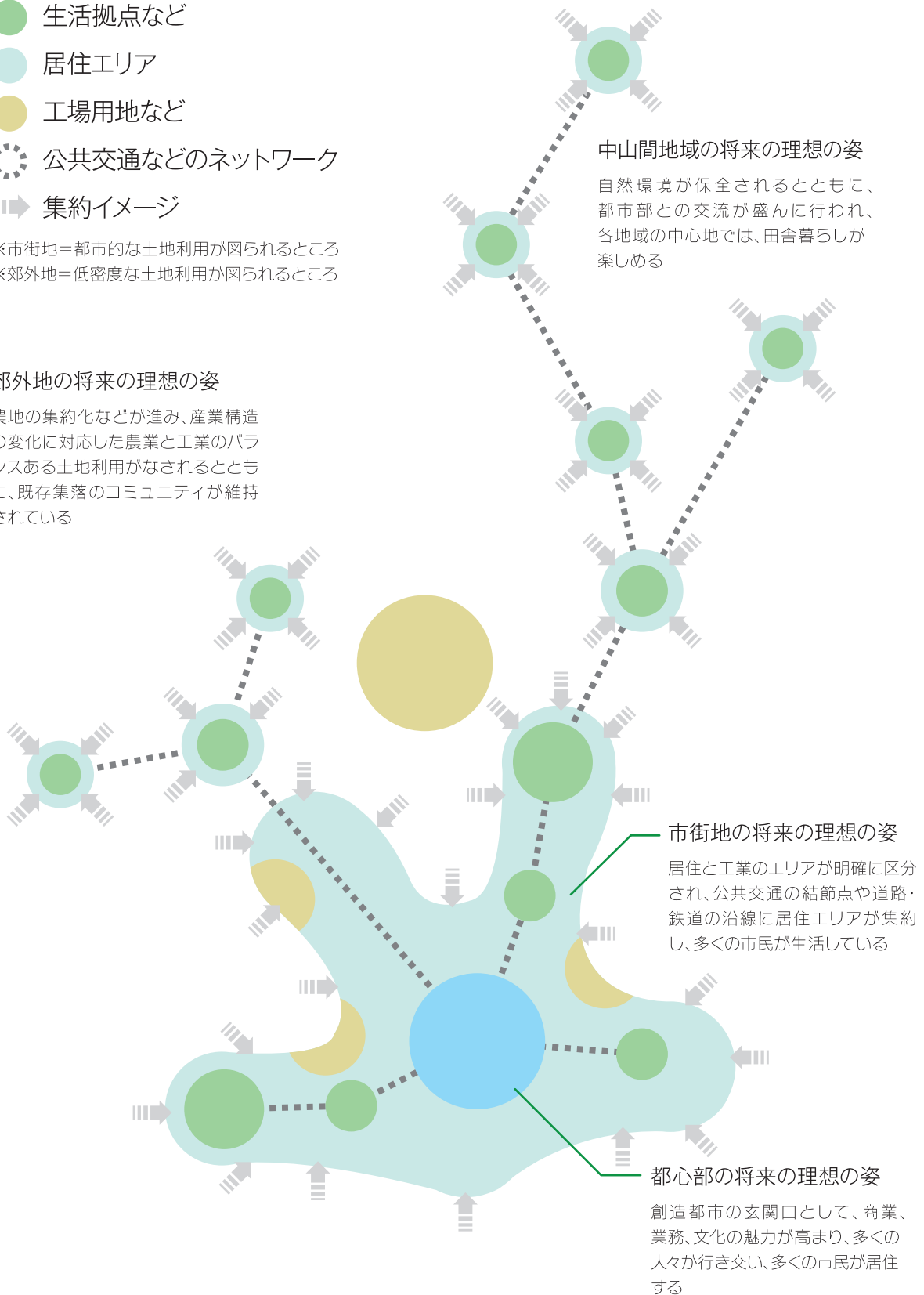
※郊外地=低密度な土地利用が図られるところ

### 郊外地の将来の理想の姿

農地の集約化などが進み、産業構造の変化に対応した農業と工業のバランスある土地利用がなされるとともに、既存集落のコミュニティが維持されている

### 中山間地域の将来の理想の姿

自然環境が保全されるとともに、都市部との交流が盛んに行われ、各地域の中心地では、田舎暮らしが楽しめる





# 基本計画



## 分野別計画

---

分野別計画の構成	72
1 産業経済	73
2 子育て・教育	79
3 安全・安心・快適	85
4 環境・エネルギー	93
5 健康・福祉	97
6 文化・生涯学習	103
7 地方自治・都市経営	107

# 分野別計画の構成







# 産業経済

## 浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：01、02、03、10、12】

**創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、  
世界経済を支えている。**



## 10年後の目標(政策の柱)

- ◆ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業<sup>※1</sup>が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
- ◆ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
- ◆ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。



# 10年後に向けて

## これまでの取り組みを強化

オール浜松体制の産学官連携による総合的な産業支援のもと、ものづくり産業の高度化と新産業<sup>※2</sup>の創出を図ることで、新たな市場の開拓を進め、競争力のある複合的な産業構造が確立できるよう支援します。また、活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な地域企業の海外展開を促進します。農林水産業では、担い手の育成を図る

とともに、安定した農地の確保、持続可能な森林管理、適切な水産資源の確保を通じて、国内外に安全で安心な浜松産の農林水産物を安定的に供給します。

さらに、創造都市の玄関口にふさわしいまちなかの創出や、国内外に通用する浜松ブランドの確立など、来訪した多くの人がおもてなしを実感できるよう、浜松の魅力を高めます。

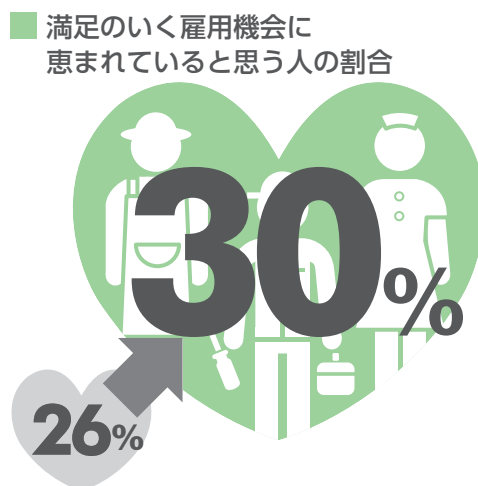
## 未来に挑戦する取り組み

多様な産業の発展とクリエイターが育つ環境づくりを支援し、成長産業が集積する都市、創業がしやすい都市として世界に発信します。

農林水産業では、ICTの活用やマーケティング手法の導入などにより、生産性の高い新たな流通システムの構築を促進します。さらに、健康や福祉などの分野と結びつくよう支援し、多様な担い手が参画できる仕組みを整え、付加価値の高い農林水産物を生産します。

浜松地域の産業経済を順調に推移させるため、就労相談等についてワンズ

ストップサービス<sup>※3</sup>の提供ができる体制の整備など、人と仕事をつなぐ環境の充実を図ります。



※1 リーディング産業：地域の経済を主導していく中核的な産業。浜松地域では、輸送用機器関連産業がリーディング産業となっており、複合的な産業構造を目指し、輸送用機器関連産業に次ぐ新たな産業の創出に取り組んでいる。

※2 新産業：輸送用機器関連産業、楽器産業、繊維産業などの既存産業以外の、地域をけん引する新たな産業。

※3 ワンストップサービス：1か所で異なった複数のサービスを受けられること。



# 基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

## 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

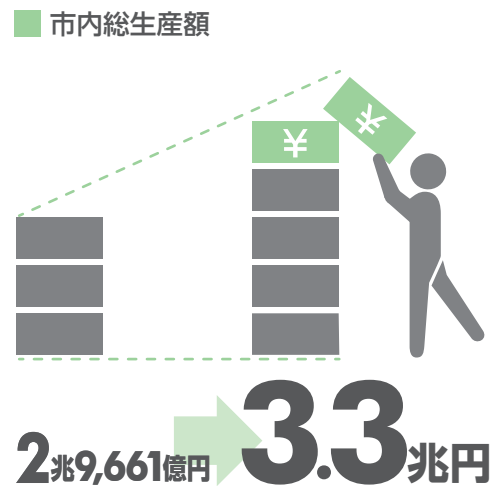
- ◆ 地域企業の新たな事業展開や成長産業へのチャレンジを支援します。
- ◆ JETRO<sup>※4</sup> や金融機関などとの連携により、中小企業の海外展開を支援するとともに、地域企業が連携した自立的な海外販路展開を促進します。
- ◆ 国内外の大学や企業、産業支援機関、金融機関のネットワークを構築し、新産業の創出を促進します。
- ◆ 将来の産業需要に合った工場用地を整備し、新たなリーディング産業を誘致します。
- ◆ ものづくりの専門家の技術を継承する仕組みづくりを構築するとともに、製品の販路を開拓し、地域産業の技術力向上を支援します。
- ◆ 浜松駅周辺エリアにおいて、魅力的な個店同士がつながり、切磋琢磨する環境づくりを進めるとともに、企業のオフィス進出を支援します。
- ◆ 住みやすく、歩行者や自転車に優しいまちなかの形成を進め、都心居住者数の増加を図り、浜松駅周辺エリアの活性化を促進します。
- ◆ 浜松及び近隣地域の観光資源を活かした着地型旅行商品<sup>※5</sup> の企画に向けて、人材の育成と体制の確立を支援します。
- ◆ ICTを活用した観光施設や公共交通機関の案内、飲食メニューの表示などを進め、来訪した多くの人がおもてなしを実感できる環境を創出します。
- ◆ 労働意欲を就労に結びつけ、だれもがやりがいを持って安心して働くことができる雇用環境の整備を支援します。

※4 JETRO : Japan External Trade Organization (日本貿易振興機構)。貿易・投資促進と開発途上国研究を通じ、日本の経済・社会の更なる発展への貢献を目指し、日本企業の海外展開支援、外国企業の日本への誘致などを行う独立行政法人。

※5 着地型旅行商品 : これまでの都市部の旅行会社で企画される「発地型」に対し、旅行目的地の地域主導で企画される産業観光やグリーンツーリズムなどのその地域に密着した体験型旅行のこと。

## ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 社会実験や製品・サービスの研究開発による、新ビジネスモデルの創出を図ります。
- ◆ ベンチャー企業や新たな事業展開を支援するとともに、個人や企業の投資を活発化させ、創業がしやすい環境を整備します。
- ◆ 地域企業との相乗効果が見込まれる外資系企業を誘致します。
- ◆ 国内外に通用する浜松ブランドを確立し、観光関連産業を主要な産業の1つにします。
- ◆ 国・県・市の重複支援を解消し、就労支援のための総合センター機能を創設します。
- ◆ 年齢、性別、障害、国籍など、それぞれのケースに応じた相談、伴走型支援、無料職業紹介等、きめ細かなワンストップサービスを提供します。



(基本政策)

## 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

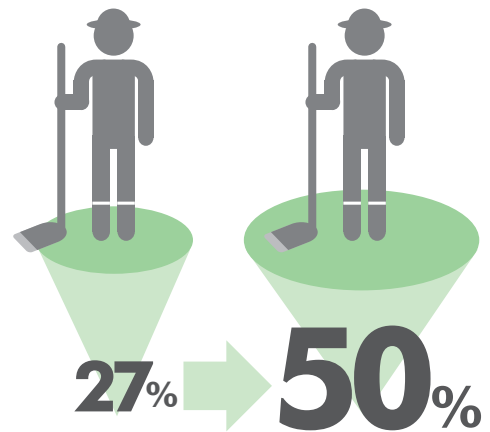
- ◆ 農地の流動化を促す仕組みを構築し、農地の集約化を進めます。
- ◆ 農林水産業の6次産業化<sup>※6</sup>を進め、国内はもとより輸出販売に向けた戦略的経営を支援します。
- ◆ 野生鳥獣の生息環境を保全し、農作物の食害の減少を図ります。
- ◆ 林業の集約化と規模の拡大を促進し、木材の生産と流通が効率的に行われる環境を整えます。
- ◆ 間伐と再生林による森林資源の循環を推進し、持続可能な森林経営・管理を支援します。
- ◆ 他産地の木材と差別化した市場競争力のある木材の供給を促進します。
- ◆ 住宅用の木材のほか、家具や玩具、木質バイオマスなど多面的な木材の利用を促進します。
- ◆ 水産基地・基盤の再整備による生産から流通の効率化を促進し、漁業経営が安定する環境を整えます。
- ◆ 漁や養殖など、多様な水産業がバランス良く行われるよう支援し、水産資源の適正な管理を図ります。
- ◆ 市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全します。

※6 6次産業化：農林漁業者による事業の多角化及び高度化のこと。農林漁業者による加工、販売への進出を示す。

## ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ ICTの活用やマーケティング手法の導入などにより、効率的で生産性が高い農林水産業経営の実現を支援します。
- ◆ 生産から販売までが一体となった流通システムの構築やトレーサビリティ<sup>※7</sup>などの取り組みを支援し、安全で安心な浜松産の農林水産物の更なる価値の向上を図ります。
- ◆ 地産地消を進めることで、市内の学校給食、社員食堂、レストラン等で地元食材の利用を促進します。
- ◆ 農林水産業と地域の観光産業の融合により、自然、文化、人々との交流を楽しむグリーン・ツーリズムを推進します。

■ 農地の集積率



※7 トレーサビリティ：物品の流通経路を生産段階から最終消費段階あるいは、廃棄段階まで追跡が可能な状態。



## 子育て・教育

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：06、07、08、10、12】

**地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、  
浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。**



### 10年後の目標(政策の柱)

- ◆ 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- ◆ すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。



# 10年後に向けて

## これまでの取り組みを強化

子育て世代が子どもを安心して生み育てられるように、充実した相談体制や費用の助成により子育てに対する不安感や経済的負担を軽減します。また、幼児教育・保育施設の整備などを行うとともに、子育て中の就労・子育て後の社会復帰を支援するなど、子育てがしやすい生活環境を整えます。学校教育では、すべての子どもたちが生きる力を身に付けられるよう、教職

員の指導力の向上や教育環境の整備・充実に取り組みます。また、不登校、外国人、障がいのある子どもへの支援体制を整えるとともに、互いの個性を認め合い、心の通い合う温かで優しい人間関係を築き、いじめをしない、許さない子どもを育てます。さらに、音楽を中心とした芸術や地域の伝統文化などに触れる機会を設け、創造性豊かな子どもたちを育成します。

## 未来に挑戦する取り組み

事業所内保育<sup>※1</sup>や市民主体の子育てサポートの促進など、仕事と子育てが両立できる環境づくりを支援することで、家庭と企業、地域が一体となって子どもたちに愛情を注ぎ、その成長を見守る環境を整えます。

また、ICTの活用などにより、能力や興味に応じた学びの機会と場を整えることで、子どもたちが自分の未来を描き、夢と希望に向かって主体的に行動できるよう、意欲と才能を最大限に引き出し伸ばす教育を推進します。

---

※1 事業所内保育：主として企業の従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもに保育を提供すること。





# 基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

## 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

- ◆ 子どもと家庭に対して、関係機関と連携し総合的な支援体制の強化・充実を図ります。
- ◆ 医療費をはじめとし、子育て、幼児教育・保育に要する費用負担の軽減に取り組みます。
- ◆ 幼稚園・保育所の認定こども園への移行を促進するとともに、幼児教育・保育の需要に応じて幼稚園教諭、保育士、保育教諭を育成することにより、多様な子育てに対応できる環境を整えます。
- ◆ 多様な主体が放課後児童会<sup>※2</sup>を運営することで、地域における子どもたちの放課後の居場所を増やします。
- ◆ 児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応に取り組みます。
- ◆ 社会的養護体制<sup>※3</sup>の充実を図る中で、里親制度<sup>※4</sup>の普及啓発と強化に取り組みます。
- ◆ 複雑な悩みを抱える若者を支援する専門的な人材の育成を促進し、相談体制の充実や支援機関の連携強化を図ります。

※2 放課後児童会：保護者が昼間家庭にいない児童に放課後の小学校の余裕教室などを活用して適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図る事業の名称。

※3 社会的養護体制：里親、小規模住居における養育事業、施設、児童家庭支援センターなどの社会的養護を担う機関または事業。

※4 里親制度：保護者の病気、家出、離婚などの様々な事情により、家庭に恵まれない子どもたちに、家庭に代わる養育環境を提供し、温かな愛情と理解を持った家庭的な環境の中で養育する制度。

## ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 学生や地域の子育て中の親子、高齢者などが世代を越えて集うことができる、魅力的な場所を整備します。（新しい子育て支援ひろば<sup>※5</sup>を展開します。）
- ◆ 地域の大人が地域の子どもや子育て中の親と交流する機会を増やし、困った時に助け合う相互扶助の気運を醸成します。
- ◆ ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、企業などの理解を深め、事業所内保育などの実践を促進することで、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを支援します。



※5 子育て支援ひろば：子育て家庭のための相談、情報提供、講習などを行う常設の広場。

(基本政策)

## 市民協働による未来創造へのひとづくり

- ◆ 社会全体で、規範意識やマナー、自他を大切に作る心、望ましい生活習慣、健康的な体などをはぐくみ、成長を見守ります。
- ◆ 知識を活用し新たなものを創り出す力、環境や価値観の異なる人たちと協働する力、自立的に行動し自分が進むべき方向性を見い出す力を付けることのできる環境を整えます。
- ◆ 情報教育や環境教育を推進し、情報を効果的に利活用する力や環境保全に対する意識の向上に取り組みます。
- ◆ 英語教育や国際理解教育を充実することにより、グローバル社会に対応する力を伸ばします。
- ◆ 学校、家庭、地域が防災・防犯に関する連携を強め、子どもが、いつでもどこでも自分の安全を確保できるようにします。
- ◆ 子どもと大人の心の通い合う温かい人間関係を構築し、いじめをしない、許さない社会を醸成します。
- ◆ 教育活動や授業改善、教職員研修に取り組み、確かな指導技術を身に付けた、家庭や地域に信頼される教師を育成します。
- ◆ 基幹教員<sup>※6</sup>やコーディネーターの適正配置をはじめとし、子どもの成長と学びに応じたサポート体制を整えます。
- ◆ 学校、家庭、地域が目指す子どもの姿を共有し、特色ある「はままつの人づくり」に取り組みます。
- ◆ 家庭や地域の学校運営への参加を促進するために、学校経営方針<sup>※7</sup>、学校評価<sup>※8</sup>などの情報を積極的に発信します。
- ◆ 施設・設備の適切な補修や改築を行うことにより、子どもたちの安全で安心な学校生活を確保します。
- ◆ 奨学金や就学バスなどの充実により、学校規模の大小や家庭環境の違いによる教育格差を解消します。

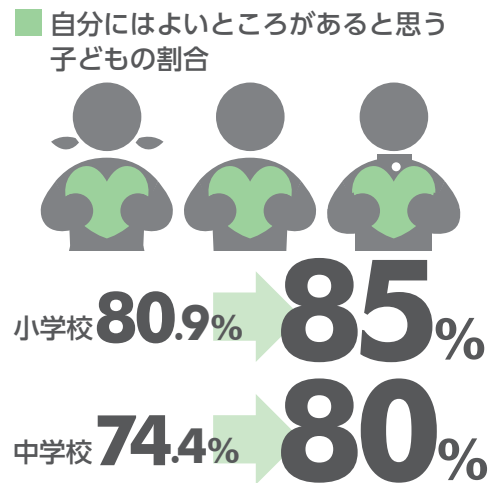
※6 基幹教員：英語、体育、保育など各分野において中心的な役割を担う教員のこと。

※7 学校経営方針：校長が教育活動の具体的な目標と方策を設定し、教職員全員がそれに向かい協働体制を確立するために策定するもの。

※8 学校評価：子どもたちがより良い教育を享受できるよう、教育活動などの成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取り組み。

## ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ ICT 環境の整備や、ICT を活用した分かりやすい授業づくりなどを推進します。
- ◆ すべての子どもが能力や興味に応じた学びを選択し、深めることができる環境を整えることで、一人ひとりの意欲と才能をさらに伸ばします。
- ◆ 家庭や地域、企業、各種団体などが一体となって子どもの教育に取り組み、学びの機会と場が拡大する体制を整えます。



# 3



## 安全・安心・快適

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：04、05、07、11、12】

**どこでも安全、いつまでも安心、  
持続可能で快適なまちになっている。**



### 10年後の目標(政策の柱)

- ◆ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ◆ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。



# 10年後に向けて

## これまでの取り組みを強化

防災対策に関しては、防潮堤の早期実現、防災施設の整備、消防・救急体制の充実を図り、道路・橋・上下水道などの強靱化、建築物の耐震化などを進めるとともに、地域と行政が連携した防災訓練を通して、地域防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

また、交通安全教育の充実や安全な通学路の整備などを総合的に進め、交通

事故のない社会を実現します。

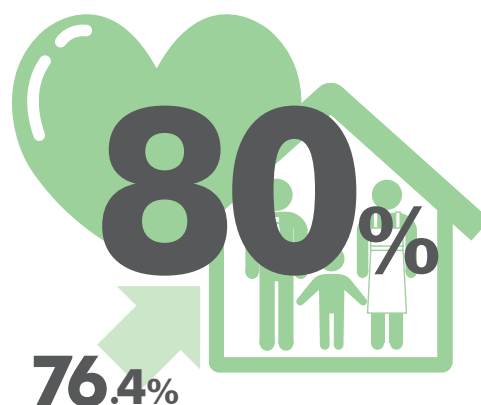
さらには、地域防犯の取り組みにより、犯罪を起こさせない、犯罪に巻き込まれない社会を目指すとともに、消費者教育を推進し、豊かな消費者市民社会<sup>※1</sup>の形成に努めます。

自助・共助・公助の取り組みを通じ、「自分の命と財産は自分で守る」意識を高め、安全・安心なまちづくりを進めます。

## 未来に挑戦する取り組み

集約した居住エリアを含む拠点を配置し、拠点間を公共交通ネットワークで結ぶ「拠点ネットワーク型都市構造」への転換を目指します。また、豊かな自然環境と共存しながら、都市の緑化推進に努めるとともに、空き家・空き地の有効活用や土地利用の適正化などにより、都市活力の向上を図りつつ、快適なまちづくりを進めます。

■ 自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の数



※1 消費者市民社会：消費者が、購入する商品の選択など自らの行動をとおして、現在及び将来の社会経済や地球環境にまで影響を及ぼし得ることを自覚し、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に関わっていく社会をいう。



# 基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

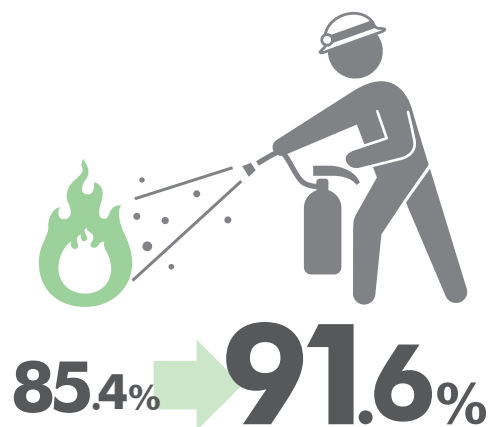
## みんなの力で自然災害から生き残る

- ◆ 公共インフラなどのハード整備を進め、自然災害がもたらす被害の低減を図ります。
- ◆ 市の危機管理体制を強化するとともに、復旧・復興が早期にできる体制を整備します。
- ◆ 自治会や自主防災隊などと協力し、幼少期からの防災教育を充実することで、地域住民が積極的に防災訓練に参加する体制を強化します。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 防災に関する知識と意識を持ち行動ができる市民を育てる環境を整備します。
- ◆ 複数の伝達手段を整備し、災害情報を迅速に周知します。

■ 自主防災隊訓練実施率



(基本政策)

## 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

- ◆ 防犯講座や防犯意見交換会の開催により、高齢者の関わりを強化しながら、地区ごとの連携を図ります。
- ◆ 消費生活相談窓口・地域の見守りネットワーク体制の強化、情報の活用基盤の整備を図り、消費生活の安全・安心を推進します。
- ◆ 学校・地域・家庭・職場における消費者教育を推進します。
- ◆ 火葬需要の増加と施設の老朽化に対応し、斎場の再編整備を進め、火葬業務に支障がない体制整備を図ります。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 消費者行政推進のため、消費者教育の拠点を整備します。
- ◆ 市民に消費者市民社会の形成に参画することの重要性について周知します。
- ◆ すべての地区への地区安全会議<sup>※2</sup> 設立を促進し、情報提供や支援を行います。

---

※2 地区安全会議：住民による自主的防犯活動や地域ぐるみの安全活動を支える組織として、中学校区程度の地域内の自治会組織を中心に、健全育成会、地域安全推進員、防犯ボランティア、事業所等の様々な団体や個人が連携し、防犯活動を検討・実施している団体。平成 25 年度末現在、対象となる市内 59 地区のうち、46 地区に地区安全会議が設立されている。



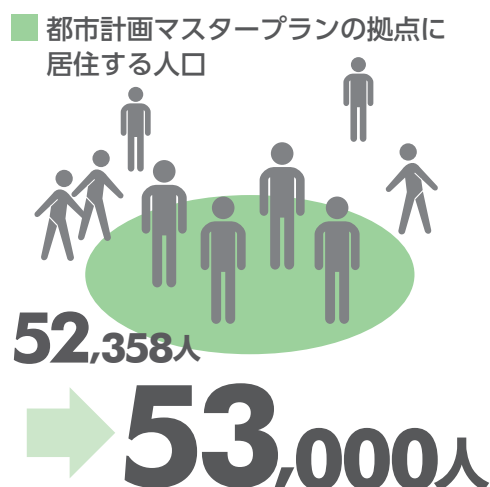
(基本政策)

## 市民が集う活力ある都市づくり

- ◆ 鉄道駅周辺や公共交通がある基幹道路周辺に、居住や医療・福祉施設、子育て支援施設などの都市機能を集積する誘導エリアを設定し、都心を含めたエリアへの居住を推進することで集約型の都市づくりを目指します。
- ◆ 主要駅における駅前広場の整備など乗換利便性を向上させることにより、交通結節点の機能を強化します。
- ◆ 環境・歴史・文化・経済等の地域特性に配慮した、安全で快適な生活環境の確保と市域全体の魅力ある環境づくりを行い、開発と保全のバランスある土地利用を推進します。
- ◆ 建築物、屋外広告物等が、心地よい景観の構成要素として市民や企業に広く認識され、周辺のまちなみ景観や自然景観と調和したデザインとなるように誘導し、地域の魅力を高めます。
- ◆ すべての建築物の耐震化を促進し、安全性を確保します。
- ◆ 道路沿いの危険な転倒物等の改善を促進するとともに、狭い道路の拡幅整備を推進します。
- ◆ 市営住宅については、定期的な改修や、民間活力を導入した集約建替を行います。
- ◆ 協働により、緑豊かで花があふれる快適で美しいまちづくりを促進します。
- ◆ 防災機能が充実した総合運動公園や浜松城公園の整備を進め、だれもが安全に安心して利用できる憩いの場を提供します。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 大規模な公園の管理運営において、民間活力の導入を目指します。
- ◆ 動物園の再生を目指し、施設のあり方を含めた改修計画を推進します。
- ◆ 建物のリノベーションや低・未利用地を活用することで、新たな産業の起業・集積を促進し、都心部での雇用を創出するとともに、文化創造の拠点を形成します。



(基本政策)

## 安全な生活基盤づくり

- ◆ 道路・河川施設等の適切な維持管理を行い、長寿命化を進めます。
- ◆ 「多自然川づくり<sup>※3</sup>」や河川愛護活動を通して、良好な水辺環境を創出するとともに、河川、排水路等の整備により浸水被害を軽減します。
- ◆ 河川の氾濫が予想される区域の最新情報を市民に周知します。
- ◆ 土砂災害警戒区域等における防止対策や警戒避難体制の整備により、市民の安全を図ります。
- ◆ 歩道や道路照明などの老朽化対策とともに、ユニバーサルデザイン<sup>※4</sup>化や「自転車走行空間<sup>※5</sup>」の整備を進め、道路環境の安全性の向上を図ります。
- ◆ スマートインターチェンジの設置及び幹線道路の整備により、市街地と高速道路とのアクセス性の向上や利便性を高め、道路網の充実と地域の活性化を図ります。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 効率的・持続的な道路管理を行うため、予防保全への転換を図るとともに、緊急輸送路など重要道路の橋りよりの耐震化対策を完了します。
- ◆ 道路・河川台帳などのインフラ管理のICT化を進めます。

※3 多自然川づくり：単なる自然保護だけでなく、自然を積極的に再生しながら水辺の環境づくりを進める考え方を基調として、自然素材（石材、木材、植物）を使った川づくり。

※4 ユニバーサルデザイン：年齢、性別、能力、国籍などの人々が持つ多様な特性や違いを超え、すべての人に配慮して心豊かな暮らしづくりを行っていかうとする考え方。

※5 自転車走行空間：自転車が安全に安心して走行できる道路、又は道路の部分。

(基本政策)

## いつでも、どこでも、迅速的確に対応する 消防・救急体制づくり

- ◆ 署所や消防団庁舎の適正な配置に向けて、計画的に整備を行います。
- ◆ 職員の教育訓練や研修制度を整備し、能力・資質の向上を図ります。
- ◆ 自治会や事業者等との連携を強化し、消防団員の確保を図ります。
- ◆ 火災予防広報の充実により、市民の防災意識を高めます。
- ◆ 救急車の適切な配置及び迅速搬送により、病院収容までの時間を短縮します。
- ◆ 救急救命士による特定行為<sup>※6</sup>の処置範囲の拡大により、病院到着前の救護体制を強化し、救命率の向上及び傷病者の後遺症の軽減を図ります。
- ◆ 大規模災害時における、消防・防災ヘリ応援機の受け入れ体制及び運用体制を整備します。
- ◆ 消防車両及び消防用資機材を適切に配置し、消火、救助能力を向上するとともに、安全で確実な車両の管理を行います。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 住宅用火災警報器の全世帯への設置を促進します。
- ◆ ICTを活用し、迅速に119番通報ができるシステムを構築します。
- ◆ 危険度を問わず、すべての違反対象物<sup>※7</sup>において是正を図ります。

※6 特定行為：救急救命士が医師の具体的指示により実施可能な救急救命処置（心臓や呼吸が停止している傷病者に対する点滴処置、器具を使用した気道確保処置及び薬剤の投与、心臓や呼吸が停止していない傷病者であっても、意識状態が悪い等条件に合った対象者に対する点滴処置、血糖測定並びに低血糖症例への薬剤の投与）

※7 違反対象物：設置義務のある設備が設置又は維持管理されていない、防火管理が適切に行われていないなど、消防法令等に違反する建物、工作物等の防火対象物。

(基本政策)

## 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える 上下水道

- ◆ 最新の科学的知見に基づいた浄水処理を行い、万全な管理体制により水道水の品質を維持します。
- ◆ 工場排水、農薬、油脂、微生物など水道水の取水流域の汚染リスクに関する情報を的確に把握し、厳重な監視の下で適切な対応を図ります。
- ◆ 管路や施設の「耐震化・長寿命化計画」について、アセットマネジメント<sup>※8</sup>に基づき時点修正を加えながら確実に進めます。
- ◆ 大規模災害時などにおいて、復旧用資材を広域的に調達できる体制を構築します。
- ◆ 下水道、合併処理浄化槽、農業集落排水事業等の各事業の連携により、適正な生活排水処理を推進し、汚水による環境負荷を低減して都市の環境を堅実に支えます。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 官民連携手法により事業の一部を民間へ委ねるなど、上下水道事業の経営を合理化するとともに技術力の継承、共有化を進めます。
- ◆ より高度な ICT を取り入れ、検針業務や料金等徴収業務を省力的かつ一体的に管理します。

---

※8 アセットマネジメント：上下水道事業においては、保有する管路・施設等の資産の状態を良好に維持、管理及び更新する「費用」と、給排水に係るサービスのレベルを適切に保つ「効果」のバランスについて、リスク回避という視点を踏まえつつ最適化していく企業活動をいう。この活動を確実に実践することにより、健全かつ持続可能な上下水道事業経営を実現する。

# 4



## 環境・エネルギー

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿（30年後）


【実現を目指す 1 ダースの未来：03、04、12】

**豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。**



### 10年後の目標（政策の柱）

- ◆ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ◆ 再生可能エネルギー<sup>※1</sup>等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。



# 10年後に向けて

## これまでの取り組みを強化

天竜川、浜名湖、遠州灘、南アルプスなどの豊かな自然は、多様な動植物をはぐくんでいます。この豊かな自然の恵みを次の世代へ引き継ぐために、自然環境と共生するまちづくりを推進するとともに、市民生活に環境への負荷を抑える活動を取り入れ、温暖化防止を促進します。環境に配慮したライフスタイルが定着し、安心して暮らせる住み心地よさが多くの方に認識される

よう、環境のブランド力向上を目指します。

全国トップクラスの日照時間を活かした太陽光発電や木材資源等を有効に活用するバイオマス発電<sup>※2</sup>などの再生可能エネルギーの導入を一層拡大するとともに、住宅・工場・事業所などのエネルギーの最適利用を推進し、エネルギー自給率を高めます。

## 未来に挑戦する取り組み

ごみ減量や資源化、ごみの適正処理、廃電子機器からのレアメタルの回収など、行政・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を果たし、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進する政策に取り組み、ごみ処理や埋立施設の長期的な使用、効果的な活用を実現します。

スマートコミュニティ<sup>※3</sup>の構築に向け、ICTを活用し、住宅団地や工業団地など

の地域単位で、エネルギーの最適利用が進むよう取り組みます。また、エネルギーの地産地消を推進するため、再生可能エネルギーを活用した安定・安価な電力供給体制を構築します。さらに、地域産業の活性化に向け、発電・省エネルギー・電力供給など、成長産業として期待されるエネルギービジネスの創出を推進します。

※1 再生可能エネルギー：太陽光、風力、水力、バイオマスなど、エネルギー源として持続的に利用することができるものと認められるもの。

※2 バイオマス発電：バイオマスを燃料とした発電。バイオマスとは、生物資源（bio）と量（mass）を組み合わせた言葉であり、間伐材、生ごみ、下水道汚泥などのバイオマス（動植物に由来する有機物である資源（化石燃料を除く））を活用し、発電すること。

※3 スマートコミュニティ：住宅団地や工業団地など、一定のエリアで、エネルギーを無駄なく賢く活用する次世代の社会システム。

# 基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

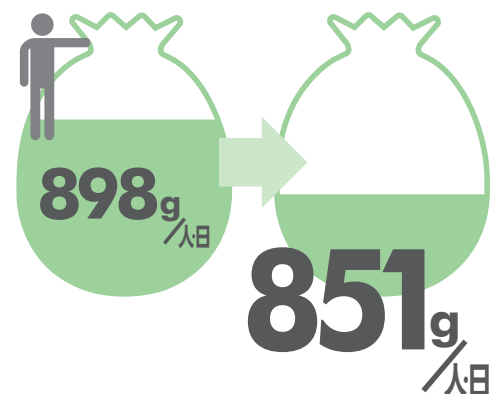
## 環境と共生した持続可能な社会の実現

- ◆ 本市の環境特性を踏まえた環境配慮の仕組みづくりと体制の充実を図ります。
- ◆ 環境教育推進ネットワークを活用し、持続可能な社会の実現に向けて自ら行動する人材の育成を推進します。
- ◆ 緑地・水域を保全し、緑や水の持つ機能を複合的・効果的に利活用する空間づくりを推進します。
- ◆ 市民や事業者へ生物多様性<sup>※4</sup>に対する啓発や活動支援を行い、自然環境の保全を推進します。
- ◆ 大気、騒音及び水質の環境基準を満たす取り組みを進め、市民一人ひとりが騒音や悪臭の防止を常に心がけるよう啓発します。
- ◆ 市民にとって分かりやすく効率的なごみ出しのルールづくりを行います。
- ◆ 施設の長寿命化や災害時のバックアップ機能の確保を図り、安定的なし尿処理<sup>※5</sup>体制を確立します。
- ◆ 取り締まりを強化し、地域への啓発活動を実施することで、不法投棄のない美しいまちづくりを目指します。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 3R に対する市民や事業者の関心を高め、ごみ減量及び資源化を推進し、西部清掃工場と新清掃工場の2工場体制で安定したごみ処理を実施するとともに最終処分場<sup>※6</sup>の延命化を進めます。

■ 市民1人当たりのごみの排出量



※4 生物多様性：生きものの豊かな個性とつながりのこと。様々な自然環境の中で多種多様な生物が存在し、それらがすべて直接的・間接的に支えあって微妙なバランスを保ちながら生きていること。

※5 し尿処理：家庭や事業所等から収集したくみ取りし尿や浄化槽汚泥を、衛生的に施設で処理すること。

※6 最終処分場：廃棄物は、資源化又は再利用される場合を除き、最終的には主に埋立処分される。埋立処分を行う施設が最終処分場であり、家庭ごみなどを埋立てる「一般廃棄物最終処分場」では、陶器類等の燃えないごみや焼却施設から排出される焼却灰等が埋立てられる。

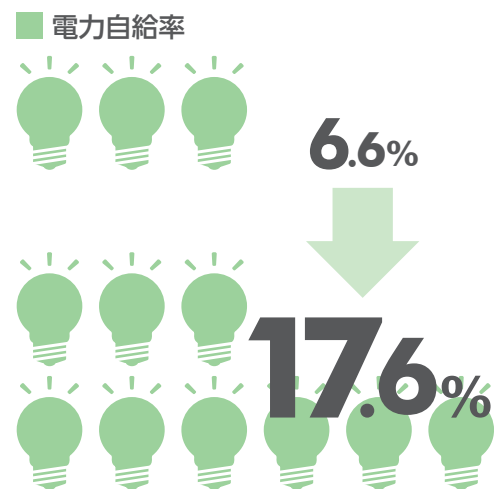
(基本政策)

## 再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進による エネルギー自給率の向上

- ◆ 太陽光発電やバイオマス発電等の再生可能エネルギーやガスコージェネレーション<sup>※7</sup>等の自家発電設備の導入を推進します。
- ◆ 住宅・工場・事業所等の建物において、徹底した省エネルギー化とエネルギーの最適利用を推進します。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ スマートコミュニティの構築に向け、エネルギーの最適利用を個々の建物から住宅団地や工業団地などへ広げます。
- ◆ エネルギーの地産地消<sup>※8</sup>に向け、再生可能エネルギーを活用した安定かつ安価な電力供給体制を構築します。
- ◆ 地域産業の活性化に向け、発電、省エネルギー、電力供給など、エネルギーに関わる新たな技術やビジネスの創出を推進します。



※7 ガスコージェネレーション：都市ガスやLPガスを燃料に、電気と熱をつくることができる自家発電設備。

※8 エネルギーの地産地消：太陽光やバイオマスなど、地域でつくった電力をその地域内で消費すること。



# 5 健康・福祉

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿（30年後）  
【実現を目指す1ダースの未来：07、09】

**支え合いによって、だれもが住み慣れた地域で  
いつまでも安心して暮らすことができる。**



## 10年後の目標（政策の柱）

- ◆ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ◆ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

# 10年後に向けて

## これまでの取り組みを強化

インクルージョン<sup>※1</sup>の考え方の普及に  
取り組み、住民が互いに支え合う地域  
づくりにより、高齢の人、障がいのある  
人などすべての人の活躍の場を広げま  
す。

活躍の場を求めている高齢の人に対  
しては、就労支援を進めるとともに、  
ボランティアなどの社会貢献活動に参  
加しやすい仕組みを構築します。これ  
によって、高齢になっても住み慣れた  
地域で、いつまでも生きがいを感じな  
がら安心して暮らすことができる地域  
社会を目指します。

心身に障がいのある人には、働くこと  
で、生きがいを感じることができる就  
労環境を提供します。また、障害福祉  
サービス事業所などで働く職員の質  
の向上やグループホームなどの計画的

な整備によってサービスを充実しつ  
つ、関連団体と連携し、障がいのある  
人に対する市民の理解を深め、地域で  
の支え合いの基礎を固めます。

また、病気や介護の予防に重点を置  
き、心と体の健康を維持しながら、い  
きいきと暮らし、快適で質の高い生活  
を送ることができるよう支援します。  
介護などが必要な人に対しては、医  
療・介護機関の連携を一層強化し、在  
宅などの必要なサービスが円滑に提  
供できる体制を整備します。

医療水準の向上のため、市内の病院と  
診療所が相互に連携し、救急時なども  
安心できる医療体制を維持するとと  
もに、地域に貢献できる有能な医療ス  
タッフの育成を支援します。

## 未来に挑戦する取り組み

地域での支え合いの仕組みづくりを  
促進するため、すべての地区に地区社  
会福祉協議会が設立されるよう支援  
します。また、地域のNPO、福祉団体  
等が相互に協力し、地域課題の解決に

連携して取り組みます。

移動や生活に支援が必要な人の情報  
が災害時にも速やかに活用できる仕  
組みを構築し、平常時の見守りと災害  
時の支援を一貫して実施します。

※1 インクルージョン：包み込むという意味で、障害の有無などにかかわらず、すべての人が社会の中で生活し、そのニーズに応じた地域生活支援を受けられるようにしていくこと。

# 基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

## 人と人とのつながりをつくる社会の実現

- ◆ インクルージョンの考え方の普及に取り組み、高齢の人や障がいのある人も社会を支える一員として雇用される環境を整備します。
- ◆ 心身の機能低下により支援が必要な高齢の人には、適切な福祉サービスを充実します。
- ◆ 元気な高齢の人の社会参加を後押しします。
- ◆ 高齢の人、障がいのある人など、あらゆる人が地域の中で孤立することなく、多くの人に見守られながら住み慣れた地域や家庭で安心して暮らすことのできるよう、在宅サービスの充実など、環境を整備します。
- ◆ 地域にボランティアの交流活動拠点が整備され、地域住民のボランティア活動への参加を支援します。
- ◆ 障がいのある人に対する理解の普及・啓発を推進します。
- ◆ 障がいのある人の差別を解消し、虐待を防止します。
- ◆ 障がいのある人を支援する団体等との連携を強化し、研修や講座、相談支援の協力・参画の推進をします。
- ◆ 地域生活を支えるためのグループホーム等の計画的な整備によって、福祉サービスの充実を図ります。

## ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ すべての地区に地区社会福祉協議会が設立されるよう支援します。
- ◆ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）<sup>※2</sup> の配置を拡充し、地区社会福祉協議会や地域の NPO、福祉団体等が相互に連携し、地域課題の解決に取り組みます。
- ◆ はままつあんしんネットワーク<sup>※3</sup> と災害時避難行動要支援者<sup>※4</sup> の支援対象者の統一を図り、平常時の見守りと災害時の支援を一貫して実施する体制を確立します。

■ 浜松市ささえあいポイント事業<sup>※5</sup>の  
ボランティア登録人数



※2 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）：地域住民などからの相談に応じ、福祉課題の解決に向けた取り組みや行政への提言などを行う、地域福祉活動などを支援するための専門的な福祉コーディネーターのこと。

※3 はままつあんしんネットワーク：一人暮らし高齢者や高齢者世帯など、日常生活に不安を抱える高齢者等が、住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、市民の支え合いの心で見守り、支援する仕組み。

※4 災害時避難行動要支援者：災害時において、家族以外の第三者の支援がなければ避難所等への避難行動が難しい障がいのある人や、要介護者、一人暮らし高齢者などのこと。

※5 浜松市ささえあいポイント事業：介護施設や高齢者宅などで行ったボランティア活動に対して換金できるポイントを付与する事業。

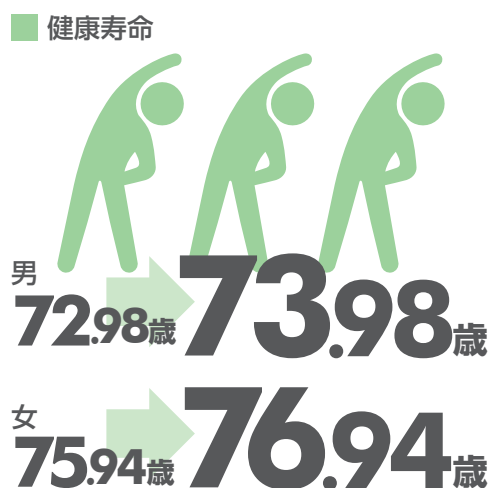
(基本政策)

## 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

- ◆「自分の健康は自ら守りつくる」ことを基本として、市民一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい環境を整備します。
- ◆生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組みます。
- ◆生涯にわたり歯と口の健康増進を支援します。
- ◆公立病院は、医療制度改革や医療の多様化・高度化等に対応した病院経営を進め、救急医療、回復期医療、へき地医療など、地域で求められる役割を果たします。
- ◆病院と診療所が相互に連携し、救急時でも安心できる医療体制を維持します。
- ◆地域に貢献できる有能な医療スタッフの育成を支援します。
- ◆中山間地域にも対応した在宅医療などが実施されるよう、地域包括ケアシステム<sup>※6</sup>の整備を促進します。
- ◆精神障がいや疾患のある人が、住み慣れた地域において安心して暮らすことができるよう、行政及び民間の相談員によるアウトリーチ<sup>※7</sup>の促進や地域の理解の向上を図ります。
- ◆だれもが周囲の人のこころの不調に気付き、専門の相談機関での適切な相談を受けることができる環境を整え、自殺者の減少を図ります。
- ◆インフルエンザなどの感染症対策として、うがいや手洗いなどの衛生行動の習慣化を推進します。
- ◆食品製造施設の衛生管理の徹底など、食の安全対策・検査体制を充実します。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆だれもが専門性の高いメンタルヘルス相談ができるよう、医療、民間、行政の相談機関のネットワークを構築します。



※6 地域包括ケアシステム：在宅の介護や生活支援を必要とする方に対して、「医療」、「介護」、「予防」、「住まい」、「生活支援サービス」を切れ目なく、有機的かつ一体的に提供することを目指した仕組み。

※7 アウトリーチ：生活に困難さを抱えた方の自宅などへ出向いて相談及び生活支援を行い、入院や入所だけに頼らない地域生活の実現を目指す取り組み。





## 文化・生涯学習

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：01、05、09、11、12】

**創造都市を実現し、音楽の都として  
世界から注目されている。**



### 10年後の目標(政策の柱)

- ◆ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
- ◆ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。



# 10年後に向けて

## これまでの取り組みを強化

国際的な演奏会の開催や市民の国際的な音楽交流などを通じて、音楽の都として世界に認められる文化を創造します。また、知性や感性を刺激するような魅力のある展覧会などを開催するとともに、地域の芸術家や文化団体の創作活動への支援や活動を活発化させる情報発信に取り組みます。

さらに、学びを周りの人に広げる「学びの連鎖」を進展させ、市民主体の学習活動を拡大します。そして、地域の個性をはぐくんできた伝統芸能などの文化遺産の保全・活用を進め、地域の歴史・文化の積み重ねが新たな文化創造の礎となるよう、次世代に継承します。

## 未来に挑戦する取り組み

音楽文化などを通じて、世界の都市との新たな連携を進め、国内外に感動を与える創造都市を築きます。地域の芸術家や文化団体に対しては、芸術・文化に精通した専門家による活動支援を推進するなど、新たな創造の担い手を育成・支援する基盤を整え、世界

で活躍するミュージシャンやクリエイター<sup>※1</sup>を育成します。また、文化施設や生涯学習施設、スポーツ施設などでは、機能を充実するとともに、民間も含めた施設の複合化を進めるなど、利用者の利便性の向上に取り組みます。

※1 クリエイター：映像・アプリケーションといったコンテンツを創り出すなど、個人の創造性や技術、才能を産業活動の中で発揮し、付加価値の高い商品・サービスを創出する人のこと。





# 基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

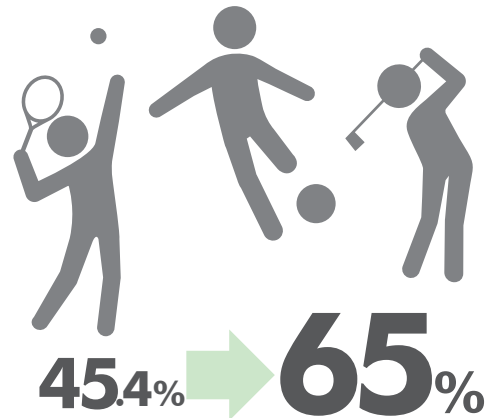
## 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

- ◆ 音楽の都として、浜松国際ピアノコンクールなど、国際的な音楽イベントを通じて、市民の多くが多様な音楽に触れる機会を創出します。
- ◆ 健康・体力づくりから競技に至るまで、ライフスタイルに応じたスポーツの取り組みを支援します。
- ◆ スポーツ団体などの競技力・指導力を高めるため、スキルを有した指導者を派遣します。
- ◆ ニーズに沿った市民主体の企画による講座などを増やして、生涯学習の機会を創出することで、市民の知識欲をかき立てます。
- ◆ 歴史的価値の高い文化遺産や地域文化を次世代へ継承する人材を育成し、市民協働による文化の継承・活用を進めます。
- ◆ 三遠南信地域などの広域的な交流・連携を通じて、文化遺産の保全・活用に取り組みます。
- ◆ 市民の知性や感性を刺激する魅力的な展覧会などを開催するとともに、質の高いアートなどの創作活動への支援や活動を活発化させる情報発信に取り組みます。

## ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 音楽文化などを通じ、ユネスコ創造都市ネットワーク<sup>※2</sup> 加盟都市などとの新たな連携を進めて、市民の国際交流を活発化します。
- ◆ ミュージシャンやアーティスト、クリエイターが、創作活動を活発化し、新たな価値を生み出すための環境を整備します。
- ◆ ラグビーワールドカップ 2019、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る事前合宿及び国際スポーツイベントの誘致を進めるとともに、本市の豊かな自然環境を活かしたスポーツツーリズム<sup>※3</sup>を推進します。
- ◆ スポーツ施設や生涯学習施設では、民間活力を活かした施設の複合化などにより、利用者の利便性を高めます。

### ■ 成人の週1回以上のスポーツ実施率



※2 ユネスコ創造都市ネットワーク：地域固有の文化の消失を防ぎ、文化的多様性を保持することを背景に、創造的・文化的産業の振興と持続可能な都市の開発に向けた国際的な都市間連携・交流を促進するプログラム。ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が加盟の審査・選考を行う。浜松市が加盟している音楽分野の都市には、ポローニャ（イタリア）、アントワープ（ベルギー）などがある。

※3 スポーツツーリズム：スポーツを「観る（観戦）」「する（楽しむ）」ための移動だけではなく、周辺の観光要素や、スポーツを「支える」人との交流や地域連携も付加した旅行スタイル。

# 7



## 地方自治・都市経営

浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿(30年後)

【実現を目指す1ダースの未来：01～12のすべて】

**協働による持続可能な都市経営を推進し、  
全国をリードする自立した基礎自治体になっている。**



### 10年後の目標(政策の柱)

- ◆ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ◆ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。



# 10年後に向けて

## これまでの取り組みを強化

市民、市民活動団体、企業など、多様な主体との協力・連携体制を築くため、行動力のあるひとづくりや各主体を結ぶ中間支援組織の育成など、活動しやすい環境づくりを進めます。

人財や財源など限られた経営資源を選択と集中により、効果的・効率的に配分して、事業の見直しを進めるとと

もに、公共施設などのファシリティマネジメント<sup>※1</sup>や財源の確保、規律ある財政運営など、自立性・自律性を高めて、不断の行財政改革を進めます。

また、持続可能な都市経営に向けて、適応性・専門性の高い職員の育成を行い、社会環境の変化に柔軟に適應できる組織づくりを行います。

## 未来に挑戦する取り組み

協働する市民などが持てる力を最大限に発揮できるよう、連携を強化し、政策形成過程、財政状況などを分かりやすく情報提供するとともに、行政情報のオープンデータ<sup>※2</sup>化を進めます。また、行政と民間事業者が連携するPPP<sup>※3</sup>などにより、民間事業者の持

つ、資金や資産、ノウハウなどを施設整備や市民サービスに活かします。

さらに、UCLG ASPAC<sup>※4</sup>などの国際機関との連携を通じ、世界の諸都市とつなぐことで、ビジネスや文化の交流などの種をまき、世界から注目される創造都市を目指します。

※1 ファシリティマネジメント：企業・団体などが保有・使用する全施設資産や利用環境を経営戦略的視点から、総合的かつ統括的に企画、管理、活用する経営活動のこと。アメリカで生まれた新しい経営管理方式。

※2 オープンデータ：行政の保有する公共データのうち、機械判読に適したデータ形式で二次利用が可能な利用ルールによって公開されたデータのこと。

※3 PPP：Public-Private Partnership（公民連携）。公民が連携したパートナーとして行う事業形態のこと。PFI：Private Finance Initiativeや指定管理制度、公設民営など、様々な手法がある。

※4 UCLG ASPAC：United Cities and Local Governments Asia-Pacific Regional Section（都市・自治体連合アジア太平洋支部）。世界最大の自治体の連合組織の支部。



# 基本政策の実現に向けた取り組み

(基本政策)

## 市民と共に未来をつかむ都市経営

- ◆「浜松市未来ビジョン」の実現に向けて、数値などの目標を掲げ、適切な進捗管理を行います。
- ◆国・県から積極的に事務・権限や財源の移譲を受けるとともに、自立した基礎自治体である特別自治市の実現を目指します。
- ◆遠州地域、三遠南信地域の広域連携を進めて、圏域の一体的な発展を目指します。
- ◆様々なジャンルで活動する人などが集まり、創造性を刺激し合うことができる、寛容性のある交流空間づくりを進めます。
- ◆首都圏では、情報の収集・発信を通じた連携業務と企業誘致を進めます。
- ◆全職員が常に業務改善を考え、業務の効率化を図り、市民サービスを向上します。
- ◆多くの外国人市民が地域づくりやまちづくりに参画し、活躍できる環境を整えます。
- ◆マイナンバー<sup>※5</sup>の普及により、国の行政機関や地方公共団体などと連携して、行政サービスを向上します。
- ◆ICTを活用した電子申請などで可能な手続きを増やします。

## ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ソーシャルメディア<sup>※6</sup>を利用した市民同士が議論する場から、集約された意見を市政に反映します。
- ◆アーティストやクリエイターが市内で活発に活動し、まちづくり、市民活動、創造産業に深く関わることを進めます。
- ◆必要とする市政情報を市民が情報端末で受信できる環境を整備します。
- ◆諸外国の都市や国際機関などと連携するとともに、都市ブランドの確立と発信や交流拡大を促進します。
- ◆「出世の街 浜松」のブランドイメージを国内外に定着させます。

※5 マイナンバー：平成25年5月に成立した「番号法」などの関連4法に基づく制度で、外国人を含むすべての市民に付番する唯一無二の番号。

※6 ソーシャルメディア：インターネット上で利用者が情報を交換または共有することができるメディア。双方向性を重視しており、コミュニケーションを図るための機能を有しているという特徴がある。

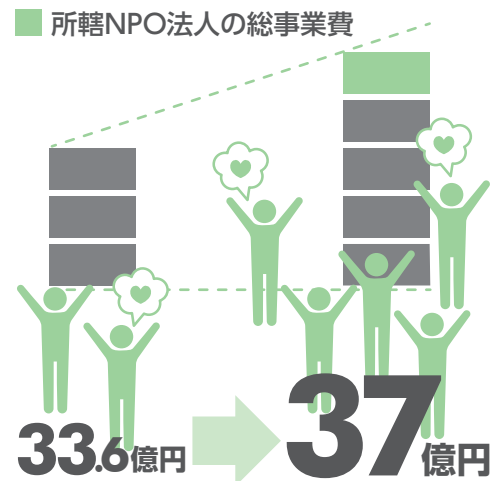
(基本政策)

## だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

- ◆ 協働センターを核として、市民主体のまちづくりを進めます。
- ◆ NPO の支援、人財の育成などを担う中間支援組織を育てます。
- ◆ 協働により、市民の公共への関心、自治意識を高め、市民主体で社会的課題が解決できる環境づくりを進めます。
- ◆ 都市部と中山間地域の交流を促進することで、移住者の増加につなげます。
- ◆ 市民の様々な特性や生活習慣の違いなど、多様性の理解を進めることで心のユニバーサルデザインが実践される社会を築きます。
- ◆ 交通や道路、施設、情報などのユニバーサルデザイン化を促進し、多様な人々が社会参加しやすくなるように環境づくりを進めます。
- ◆ 男性も子育て・介護などに主体的に関わることで、育児休業・介護休業の取得率を上昇させます。
- ◆ 自治会、自主防災活動などに女性が幹部として参画するよう働きかけることで、地域での女性の活躍を推進します。
- ◆ 企業がワーク・ライフ・バランスの重要性を認識し、個々の企業の実情に合った自主的な取り組みを行うための環境づくりを支援します。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ NPO の信頼性と専門性を高める活動を支援し、NPO への寄附が増えるような環境を整えます。
- ◆ 地域の需要に応じて、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスなどが育つ環境づくりを進めます。



(基本政策)

## 人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり

- ◆ 適正な組織体制と定員管理のもと、効率的で効果的な都市経営を行います。
- ◆ 社会環境の変化に柔軟に対応できる職員を育成します。
- ◆ 多様化・高度化する行政課題や法的トラブルに適法かつ適正に対応するため、法務研修を充実することで、職員の法務能力の向上に取り組みます。
- ◆ 公文書管理と情報公開制度の適正な運用を行い、市政の透明性を確保します。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 民間による新たなビジネスやサービスの創出を目指して、行政情報を二次利用可能なオープンデータとして提供します。

(基本政策)

## 将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進

- ◆ 財源の確保や規律ある財政運営を行い、時代の変化に適應できる財政構造への転換を進めます。
- ◆ 選択と集中による予算の重点配分と将来への投資を行います。
- ◆ ファシリティマネジメントの考え方に基づき、資産の総合的・総括的な管理を推進し、広域的な利用など、柔軟に資産を活用します。
- ◆ 施設の長寿命化を行うとともに、保有財産の売却などにより、新たな財源を確保します。
- ◆ 公共建築物の省エネルギー化とユニバーサルデザイン化、再生可能エネルギーの導入を推進します。
- ◆ システムによる管理を進めて、劣化状況に応じた公共建築物の適切な修繕を行います。
- ◆ 電子入札により、事務の効率化を図り、同時期の複数入札を可能にして、競争性を高めます。

### ◎チャレンジプロジェクト

- ◆ 企業などとの新たな連携により、資金、資産、ノウハウを活用した施設整備や公共サービスの提供を推進します。
- ◆ 国・県・市町村間の税関連情報の共有と申告・申請の電子化により、効率的な課税・収納事務を行います。





# 政策体系

## - 政策体系について -

分野を構成するすべての政策を掲載しています。

政策は、「政策の柱(分野の10年後の姿(理想の状態))」-「基本政策(部局レベルの政策)」-「政策(課レベルの政策)」のつながりとなっています。

## 1 ▶ 産業経済

(政策の柱)

- ◆ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
- ◆ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
- ◆ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策	政策
世界の一步先を行く 産業・サービスの創造	新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現
	海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進
	企業誘致の推進による産業集積の促進
	新規創業や新事業展開の促進
	魅力ある都心づくりと商業振興
	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化
	だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備
作業から経営に/ 変革を遂げる農林水産業	農業参入機会の創出による担い手の確保
	ICTを活用した魅力あふれる農業への変革
	生産基盤の安定による農業振興
	産業と市民活動による担い手の確保
	適切な伐採と流通の活性化
	森林管理を通じた環境対応社会への貢献
	適切な資源管理による水産業の振興
	漁港などの基盤整備による水産業の振興
	地元水産物の消費の活性化
	卸売市場の活性化による市民の食生活の安定
—	優良農地の確保と農業生産力の向上

## 2 ▶ 子育て・教育

(政策の柱)

- ◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策	政策
子どもの育ちを支え、 若者の自立を応援する まちづくり	妊娠・出産を応援するための環境づくり
	子どもが健やかに育つ環境づくり
	幼児教育・保育施策の推進と施設の管理運営
	子どもとその家庭に対する相談援助
	若者の自立を促す環境づくりの推進
市民協働による 未来創造へのひとづくり	夢と希望を持ち続ける子どもの育成
	これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
	自分らしさを大切にする子どもの育成
	一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
	園・学校や教師の力の向上
	家庭や地域の力を活かした取り組みの推進
	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり

### 3 ▶ 安全・安心・快適

(政策の柱)

- ◆ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ◆ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策	政策
みんなの力で自然災害から生き残る	みんなの力で自然災害から生き残る
安全で安心して暮らせる 持続可能な地域社会づくり	地域防犯の向上
	市民安全の確保
	安全・安心な消費生活の推進
	消費者教育の推進
	戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等窓口事務の適切な執行
	斎場・墓園・墓地の整備推進
市民が集う活力ある 都市づくり	集約都市づくりの推進
	開発と保全が調和する土地利用の推進
	はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して
	安全・安心な市街地の形成
	都心の都市機能の強化
	安全・安心な居住環境への誘導
	市営住宅の既存ストックの活用
	緑化推進・緑地保全
	都市公園・緑地の整備
	動物園の再生
安全な生活基盤づくり	効率的な道路・河川管理
	快適な道路・川づくり
	交通安全対策
	防災体制の強化
いつでも、どこでも、 迅速的確に対応する 消防・救急体制づくり	消防施設の最適化、人材育成の充実
	消防団の防災体制の充実
	火災予防体制の充実、火災による被害の軽減
	通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化
安全な水と快適な生活、 社会環境を水循環で支える上下水道	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

## 4 ▶ 環境・エネルギー

(政策の柱)

- ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策	政策
環境と共生した持続可能な社会の実現	環境に配慮した暮らしの定着と自然と共生するまちづくり
	豊かで安全・健康で快適な環境づくり
	環境に配慮した資源循環型社会の構築
	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
	不法投棄対策の推進
再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進によるエネルギー自給率の向上	再生可能エネルギー等の導入
	省エネルギーの推進
	エネルギー関連ビジネスの創出

## 5 ▶ 健康・福祉

(政策の柱)

- ◆ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ◆ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策	政策
人と人とのつながりをつくる 社会の実現	超高齢社会への対応
	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進
	適正な生活保護扶助費の給付
	超高齢社会における介護保険事業の健全で安定した運営
	国民健康保険事業の健全で安定した運営
	障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進
人々の心身の健康と生活を守る医療の充実	生涯にわたる健康づくり
	安全・安心な医療の提供
	地域医療・地域包括ケアの推進
	こころの健康づくりの推進
	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成
	保健予防と食の安全対策の推進

## 6 ▶ 文化・生涯学習

(政策の柱)

- ◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
- ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策	政策
感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造	新しい価値が生まれる創造都市の実現
	生涯スポーツを楽しむ機会の拡大
	生涯学習を享受できる機会の充実
	地域の文化遺産の継承
	地域の文化遺産の保全・活用
	芸術・文化の拠点の創造と発信
	美術館の魅力の創出
	知の拠点としての図書館機能の拡大

## 7 ▶ 地方自治・都市経営

(政策の柱)

- ◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策	政策
市民と共に未来をつかむ 都市経営	秘書・表彰業務の推進
	「浜松市未来ビジョン」の実現に向けた総合計画の推進
	基礎自治体としての自立
	創造都市の推進
	戦略拠点の連携強化
	持続可能な都市経営の推進
	市民主体のまちづくりを支える広聴広報の好循環
	世界を含めた都市間競争を勝ち抜くシティプロモーションの展開
	世界とのつながりと多様性を活かした都市の活性化
	行政サービスがだれでもどこでもいつでも受けられる電子自治体の推進
だれもがいそいそと暮らせる 市民主体の地域社会の実現	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進
	“まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興
	自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現
	一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進
人的・制度的運用の 推進による都市経営の 基盤づくり	適正な組織体制と定員管理
	職員の育成
	政策法務の推進
	職員の健康管理と職場環境の安全管理
	行政情報の提供・公開
将来像を実現する財政運営、 財産管理、財源確保の推進	将来を見据えた持続可能な財政運営の維持
	ファシリティマネジメントの推進
	安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供
	工事・物品の適正な契約
	技術職員の技術力向上
	公平公正・効率的な課税と収納
—	会計管理運営業務の推進
	公正かつ適正な選挙の実施
	適正かつ公平中立な人事行政運営の推進
	行財政運営に対する監査・指導の推進